

工ノ爲メ入場者ニ対シ全情金ノ惠典ヲ求メ其額二十八四
参下一義ヲ集メ得タル由ニテ之ヲ小野造船所職工ニ
寄贈セラル等ノコトアリタルモ一般ニ汽轉場ヲス全十時
閉會セリ

而シテ閉會後伊藤製鋼所ノ職工約七十名ハ三々伍々ニ
午後十時三十分南區天王寺松ヶ崎町ナル伊藤製鋼
所直役田中九元三方前ニ集合シ労働歌ヲ高唱スル等
ノコトアリタルヲ以テ所轄署天王寺署警察署署長ニ於テ
懇諭退散ヲ命ジタルモ容易ニ退散セサルノミナラス
不穩ノ行動ニ出テムトセルヲ以テ左記五名ヲ檢束シ漸
ク全十三時全ク退散セシメタリ
右及申(通)報候也

- 左記
- 藤原一義 新 竹 廣 藏
- 飯村豊吉 石 川 龜 吉
- 金子巽 木 村 崎 一

宣 言

既界ノ不況ハ深刻ニ労働者ノ頭上ニ陰影ヲ投ケ失業者ハ
街路ニ充ツ我等ニ職ナク金ナク仕事ナク信用ナレ我等ハ今
産業ノ犠牲トナリ墓石ノ如ク棄テラル我等ハ資本主
義經濟ノ毒牙ニ整レ我等ヲ待ワニタラ飢餓ト憤墓アルノ
ミ此ノ所ニ我等階級反目ノ一層激シクナルヲ見ル然ルニ政府
ニ誠意ナク資本家ニ識見ナク日本ハ曾テ見ガル暗雲ヲ前
途ニ望見シテ居ル即チ我等ハ資本主義ノ崩壊ノ日モ
速カナラム事ヲ望ムト共ニ産業自治ノ新世界ヲ創造ス
コトニ依リ失業撲滅ノ日ヲ自カラカラム事ヲ望ム

大 阪 失 業 者 大 會

大正十年七月七日

決 議

一我等ハ失業保險制度ノ確立ヲ期ス
一我等ハ失業者ナキ時代ヲ實現ヲ期ス
大 阪 失 業 者 大 會